

16件に研究助成金

矢崎科学技術
振興記念財団

科学技術の研究開発を支援する矢崎科学技術振興記念財団(本部東京都港区、尾崎護理理事長)は9日、東

京都内で「第34回研究助成金贈呈式」を開催した。新材料、エネルギー、情報の3分野を対象に研究を公募し、応募総数150件の中から16件を選定した。

「一般研究助成」(助成金200万円)に5件、若手研究者のための「奨励研究助成」(同100万円)に10件、財団が定める特定のテーマに関する「特定研究助成」(同1千万円)に1件を選んだ。また、国際

的な学会に参加する渡航費を援助する「国際交流援助」に17人に決定した。

中部からは、名古屋大学大学院理学研究科助教の田辺賢士氏による研究「新規インダクタンスの提案とその実証」と、豊橋技術科学大学大学院工学研究科電気・電子情報工学系助教の後



尾崎理事長(右)から助成金を受け取る名大大学院の田辺助教

藤太一氏による「kW級スピン変調型Qスイッチレザーの開発」がそれぞれ奨励研究助成に選ばれた。

同財団は矢崎繪業の創業40周年を記念して1982年に設立した。贈呈式でありさつした尾崎理事長は「日本の将来に夢を与える科学技術の振興のために取り組んでいきたい」と話した。